



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員の会(さくら会)

杉並支部HP <http://tokyousosuginami.web.fc2.com>

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855



「ハイビスカス」 天沼2丁目 Kyoko.Tさん宅 元杉六小

豪雨被害、続く猛暑。おまけに気温にも湿度にも強いウイルスのために散々な夏でした。

こうした中でも、何かしら楽しいことを求めてがんばっているのが私たち、杉退教の仲間です。

巻頭の和歌三首。我らが会長、Kさんの作で、新聞の短歌欄から見つけ、無断掲載しました。コロナ禍にあっても自然や生活に温かいまなざし。選者の寸評にもそのことが記されています。

上の写真「ハイビスカス」六月六日、Tさんのお宅の玄関わきに咲いていた花です。こちらは無断で撮影し、無断掲載しました。ごめんなさい。日よけのすだれとハイビスカス

の絶妙なコントラスト。赤色から黄色へのグラデーション。前を通る人の目を楽しませてくれたことでしょう。(カラーでないのが残念。杉並支部のHP見てください。)

八月は六日、九日、十五日。広島市の市長も長崎の市長も、祈念式典で日本政府が核兵器禁止条約を批准するよう強く求めました。続いてあいさつに立った安倍首相は、今年も「核保有国との橋渡しの役割を果たしたい」と繰り返し、架け橋の工事する気もなく総理大臣の職を辞任してしまいました。

対岸にいては架け橋架けられぬ架け橋くらいはやってほしかった。

**みなさんお元気で
お過ごしですか・・・**

KAZUHIKO・K 杉退教会長 元八成小
籠り居に妻と始めし朝散歩野花摘み来て生けて楽しむ
コロナ禍の塞ぎしこころ解き放つ路傍に出逢いき四つ葉のクローバ
コロナ禍に三月帰れぬ無人なる生家は無事か空仰ぎ見る



みなさんからの便りのページです。

この3月 永福小学校を退職されたMichiko.Gさんから

退職後、コロナ禍による他府県移動自粛の解除後の7月上旬に、沖縄に引っ越しました。今後の生活の拠点は、沖縄としました。自分が生まれ育った島の恵まれた自然の中ですが、基地の問題、教育、生活の厳しさは現実のものとしてあります。そんなことに直接触れながら、自分なりに考えていきたいと思っています。

杉並支部、杉退教のご発展を心からお祈りしております。

Michiko.G 沖縄県宮古島市伊良部から



* お便りありがとうございました。沖縄も東京もその後コロナ禍が拡大していて本当に心配ですが、力を合わせて乗り越えていきましょう。伊良部のたより...またいただければ嬉しいです。左の切手は7月27日消印でした。 係

農園体験続けています

Tomiko.Sさんから
元 西宮中学校

私はコロナ状況の下で、4ヶ月の間、畑へは25分かけて自転車で通いました。(家の近くと駅へは徒歩です)

運動不足を解消する効果だけでなく、畑で過ごす時間が長くなったこともあって作物の実りも増えました。じゃがいも掘りの手伝いにきた妹は、大きなじゃがいもを前にして「レベルアップしているね・・・」と言ってくれました。作り方を替えたり、本やYouTubeで得た知識も生かしています。YouTubeについては、最近知ったのですが丁寧に分かりやすく教えてくれるよさがあります。

体験農園の講座にも参加しています。大きなビニールハウスではなく、農園のわきで、隣の人と距離をとって、少人数での講義を受けています。

最近、この農作業の中で、今までに経験したことのない状況を体験しています。それは農園のそばを歩いている人の数が多くなったことです。いつも見かける人。犬をつれてのご夫婦。幼稚園や小学校くらいの子ども連れの母親や両親。中・高・大学生らしい友人同士など。時間帯やその日の状況で変

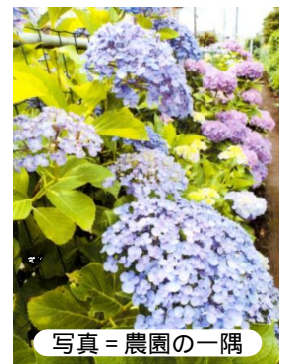


写真 = 農園の一隅

化に富んでいるのです。初めての方とあいさつを交わします。家族の様子、自分の生い立ちを話してくれる方もいます。このコロナ禍で奥さんとの面会ができない方。友達とも会えない、趣味の会も開催できず参加もできない方。作物の育ちについて声をかけてくださる方。家族以外の人と話す機会が少なくなったと思っている方。話の内容も千差万別ですが、これもコロナ禍の中での一つの現象でしょう。作物の育つ楽しみとともに、人と触れ合う楽しみももらった気がしています。

小平市上水南町在住

現職時代学んだことのお返しを

Tomoko.Mさんから 元済美養護学校

長らくご無沙汰して申し訳ありません。

済美養護を退職後は、週3回、中野区で相談支援の仕事をしています。杉並時代、就学相談で学んだ経験や障害のある児童・卒業生、そして保護者の方々から教わったことを、今の子育ての中の親子・地域に少しでもお返しできるようにという思いでがんばっています。



中野区教育センター

世田谷区松原在住

テレビ画面から・・・

3月29日 J:COM デーリーニュース(府中・小金井・国分寺・多摩六都)放送のテレビ画面です。

カメラをかまえてなにやら撮影している女性はだれでしょう。

答は、Y.Nさんです。武蔵国分寺公園に咲く「ハナノキ」を写すNさんを紹介した約4分の番組でした。

退職してから写真学校で学んだこと・ベトナムのゾウ保護活動をしていることなども紹介されました。なぜ「ハナノキ」...新任地が旧長野県西筑摩郡山口村・神坂小学校。近くの水車塚石碑の前でお母様と写した写真も画面に。母親から聞いた「ハナノキ」気にしていた花が近くの公園で咲いていたのです。

(DVD・組合事務所に)



水車塚の石碑の前で

新会員ご紹介

M.Kさん 前天沼中学校
杉並区久我山在住

Y.Kさん 前西宮中学校
杉並区高円寺南在住

担任をした生徒いま48歳

Yoko.Kさんから

24歳で結婚・出産し、その子が4ヶ月の時、教員試験を受け合格。25歳になってすぐ、9月採用で目黒区の中学校の帰国子女専任教諭として採用され、以来、40年の教員生活にこの3月ピリオドを打ちました。思い返せば良き生徒達、良き同僚や先輩の先生方に恵まれたとても幸せな教員生活でした。

目黒で1.2.3と担任をして卒業した生徒はもう48歳。毎年のように会があって顔を合わせていましたが、3年前にはついに一泊旅行に行きました。この3月にも最後に担任をして卒業した数名の生徒が、コロナ禍直前に退職祝いをしてくれ、メッセージや大きな美しい花束をいただきました。大変だったまま卒業した生徒もいましたが、長じて和解でき、「子供はいつか大人になるのだ。」ということ学ばせてもらいました。私の教員人生すべてが本当にありがたいことでした。



今年も平和に関する貴重な映像が放送されました。

いくつかのテレビ番組を紹介します。

- 原発事故は防げなかったのか・分岐点 49分
- 沖縄戦と秘められた鉄道事故 46分
- せめて名前だけでも・東京大空襲 25分
- 中国革命に賭けた日本人 孫文と梅屋 45分
- 沖縄・出口なき戦場 最後の1か月 49分
- 伊400 幻の巨大潜水艦 45分
- もし75年前にSNSがあったら 50分
- 広島・長崎平和祈念式典 戦後75年・戦跡は語りかける 21分
- 映像でつづる原爆投下・全記録 60分
- 焼き場に立つ少年をさがして 59分
- ガダルカナル・大敗北の真相 45分
- あちこちのすずさん(戦時)青春をアニメで 1時間13分
- マンゴーの樹の下で ルソン島戦火の約束 1時間13分
- ヒバクシャからの手紙 大好きなあなたへ 短縮 49分
- アウシュビッツ 死者たちの告白 49分
- 吉永小百合 どう戦争を語り継ぐ 30分
- ひめゆりの声を届けたい 新装:資料館 25分
- ドラマ 太陽の子 1時間20分
- 忘れられた戦後補償 59分
- 誰がための放影研 45分

その他 コロナウイルスドキュメントなど
(貸し出し用のライブラリーではありません)



毎年8月に3日間かけて産業商工会館で開催していた杉並ピースフォーラム(今年21回目)が新型コロナウイルス拡大の影響で一堂に会しての開催ができなくなりました。けれども今年は沖縄・広島・長崎・そして敗戦75年になります。平和を願う私たちの歩みを止めるわけにはいきません。そこで今年は、記念講演の内容・新たな平和資料・2020年の思いをパンフレットとして編集することとしました。完成は10月になります。

次に掲載されている「昭和14年生まれの『戦争と平和』」は、平和パンフのためにお願ひした小関さんの原稿です。小関さんの了解も得て、一足早くここに掲載させていただきました。



昭和14年生まれの「戦争と平和」

2020年8月15日 Keiko.K

1837年(昭和12年)盧溝橋事件 日中戦争から、1941年(昭和16年)真珠湾攻撃 太平洋戦争へ、その狭間の1939年(昭和14年)秋、私は、早稲田通り(現在下井草1丁目)にある関東バスの車庫の北100mほどのところにあった小さな平屋の借家に生まれた。

断片的に記憶にある不確かな出来事のいくつかを挙げてみよう。夜は電球を黒い布で覆った真っ暗な家の中。銭湯に通う真っ暗な夜道。猫の額程の小さな庭にあった、池をつぶして父や兄たちが手作りしたのだろう、家族みんなが入れるはずもない小さな防空壕。東京に最初のB29がやってきたのは1942年、(昭和17年)4月17日というから、何度かこの防空壕に入ったのだと思う。「空襲警報発令!」のサイレンが鳴る。今でも私は工場や役所の昼の合図のサイレンが大嫌いだ。怖がりだった私には焼夷弾が夜空を焦がすのを見た記憶はないが、戦争が終わって、防空壕の蓋にしていた畳をはがしたときに2発の焼夷弾が不発で残っていた。命拾いの感謝か、しばらく家の仏壇に鎮座していた。こんなこともあった。近所の子の庭に無縁の卒塔婆が立っているのを尋ねたら、空中戦をしたのだろう、日本兵の下半身(上半身なら名前がある)が落下して身元不明なので供養したのだという。

毎日毎日恐ろしいことの連続だったが、あの3月10日の夜は東の空が赤くなるのを見た。5月25日には杉並に大空襲が襲った。我が家は無事だったが、阿佐ヶ谷周辺や私の家の北のほうは焼けたという。その頃父は神田や築地に持っていた事務所を2度も焼かれていたので、東京にいるのは危険



かかって・・・母の思いはどれほどであったのか。

空襲警報や夜空を焦がす焼夷弾におびえることはなくなったが、食べるものに困ったのだろう、母に連れられて、よく「在(ざい)」に行った。その度に母の着物は消えたが、大した食べ物に代わったわけでもない。米粒少々の大根っ葉ごはん。私は今でも、どんなに健康に良いといわれてもコメは「白米」を食べる。これも私流の戦争への仇討。

戦争が終わった!

翌年1946年(昭和21年)4月小学校に入学した私のそれからの学校生活、16年間、戦争はもうないのだ。戦争はしない!、と決めた憲法の下での学びを謳歌した。夜間大学卒業後寺島中学校(墨田区)で教員となったが、向島・地蔵坂のあちこちで、毎年3月10日、8月15日にはずいといをふるまわれて、あの時の話を骨身に沁みるほど聞かされた。38年間の教職生活も、退職後の20年間も、「平和」を脅かすものへの怒りを忘れることはない。

3000万署名が提起された時、高校・中学の同級生の何人かに手紙をつけて署名簿を送った。集めてくれた署名と返信に自分の体験を付した仲間もいた。「昭和14年生まれ」なのだった。

K.K 元富士見丘中学校 阿佐谷南3 在住)



次のハイキング、どうする～～～

予定ですと、去年11月24日、雨の影響で散策ができず、八王子で食事会だけになってしまった、滝山公園・滝山城址へ再度 11月29日(日)に挑戦と思っていたのですが・・・現在の状況では、会食もはばかれるし、予約もとりにくい。マスクをしてもグループで歩くことがよいのかどうか。いまのところ、よほど状況が改善されないかぎり再延期になるでしょう。たより11月号にて決定。

(写真は19年3月17日・南足柄運動公園です。) レク係 H.Suga